鎌倉時代

名前

問1　鎌倉時代に中国から伝えられた仏教の一派で、座禅によって自らの力で悟りを開こうとする教えを何といいますか。この宗派は、修行による精神修養を重んじる性質から武士に好まれ、幕府の厚い保護を受けて中世の武家文化に大きな影響を与えました。（2022年 神奈川県公立入試 類似）

1. 浄土真宗　2. 法華宗　3. 禅宗　4. 浄土宗

問2　鎌倉時代に全国に配置された「守護」と「地頭」の役割や設置場所の違いについて、正しい説明はどれですか。（2017年 愛媛県公立入試 類似）

1. 守護は幕府の最高職として政治全般を補佐し、地頭は幕府が直轄する都市の治安維持とキリスト教の取り締まりを行った。
2. 守護は東日本の警備のために臨時に任命され、地頭は西日本の有力武士を監視するために京都の六波羅に常駐した。
3. 守護は国ごとに置かれて主に軍事や警察の任務を担い、地頭は荘園や公領ごとに置かれて年貢の徴収や土地の管理を担った。
4. 守護は荘園領主として現地の経済を支配し、地頭は国司の下で地方行政の実務や朝廷への報告を担当した。

問3　鎌倉幕府の三代執権である北条泰時が、一二三二年に制定した法令について述べた文として正しいものはどれですか。（2022年 高知県公立入試 類似）

1. 朝廷の律令制度を完全に否定し、天皇や貴族にも幕府の支配を徹底させるために作られた全国統一の法典である。
2. 元軍の侵攻のあと、恩賞を十分に得られず生活が困窮した御家人の借金を帳消しにするために制定された法律である。
3. 戦国大名が自分の領国内をより効率的に統治するために、独自に定めた「分国法」と呼ばれる法律の総称である。
4. 武士の社会における慣習や道徳をもとに、裁判の公平な基準を示すために制定された最初の武家独自の法律である。

問4　鎌倉時代、太鼓などを叩きながら念仏を唱えて踊る「踊り念仏」を行い、全国を巡って民衆に教えを広めた僧侶は誰ですか。（2021年 香川県公立入試 類似）

1. 一遍　2. 道元　3. 親鸞　4. 日蓮

問5　14世紀前半、鎌倉幕府の政治に対する不満が高まる中で倒幕の計画を立てて兵を挙げた天皇と、それに応じてもとは幕府側の有力な御家人でありながら京都の六波羅探題を攻め落とした人物の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2022年 千葉県公立入試 類似）

1. 後醍醐天皇と足利尊氏　2. 後醍醐天皇と足利義満　3. 後鳥羽上皇と足利尊氏　4. 後鳥羽上皇と源頼朝

問6　承久の乱の後、新たに任命された地頭と荘園領主との間で、土地の支配や年貢の納入を巡る紛争が急増しました。これを受け、1232年に三代執権の北条泰時が、武士社会の慣習に基づいて制定した、裁判の基準となる法典は何ですか。（2023年 広島県公立入試 類似）

1. 御成敗式目　2. 公事方御定書　3. 十七条の憲法　4. 武家諸法度

問7　鎌倉時代に関する歴史年表において、幕府が鎌倉と京都を結ぶ道路を整備した記述が見られます。その後、13世紀後半になると、鎌倉幕府が迅速な通信連絡を確保するために、この「駅制（えきせい）」を九州地方まで延長する要因となった出来事はどれですか。（2024年 広島県公立入試 類似）

1. 応仁の乱の勃発　2. 奥州藤原氏の征服　3. 元軍による襲来　4. 保元の乱の発生

問8　鎌倉幕府が、御家人の義務として「京都の警備」を重視した背景や目的を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2022年 長野県公立入試 類似）

1. 室町時代に発達した商業や手工業を保護し、京都を通る物資から通行税（関銭）を徴収するため
2. 朝廷のある京都の治安を維持し、幕府の警察権を誇示することで、朝廷に対する支配力を強めるため
3. 御家人を定期的に京都へ交代で赴かせることで、経済的な負担を与えて反乱の芽を摘むため
4. 分割相続によって領地が細分化された御家人に対し、京都での新たな領地を与える機会を作るため

問9　1221年に後鳥羽上皇が兵を挙げた承久の乱において、幕府側が勝利した後の状況について述べた文として、正しいものはどれですか。なお、この戦いの結果、後鳥羽上皇は隠岐に流されています。（2016年 大分県公立入試 類似）

1. 源氏の血統が途絶えたため、北条氏が将軍の地位を世襲し、九州に鎮西探題を置いて西国の守りを固めた。
2. 朝廷を監視するために京都所司代が設置され、北条泰時が管領として幕政を主導するようになった。
3. 北条氏が執権として実権を握り、京都に六波羅探題を設置して朝廷の監視や西国武士の統制を強めた。
4. 足利氏が幕府の補佐役として六波羅探題に任命され、有力な御家人を統制する仕組みを整えた。

問10　当時の戦闘の様子を描いた記録には、火薬を用いた「てつはう」という武器や、組織的な集団戦法を駆使して戦う大陸側の兵士と、それに対する日本の武士の姿が描かれています。この戦いにおいて日本側が苦戦した理由として、最も適切な記述を選びなさい。（2020年 茨城県公立入試 類似）

1. 日本の武士が天皇の命令を待たず、勝手に和睦を結ぼうとしたため
2. 武士が馬を利用せず、すべて歩兵による白兵戦で応戦したため
3. 一騎打ちを基本とする武士に対し、相手が組織的な戦法をとったため
4. 相手側が鉄砲を大量に導入し、遠距離から武士を攻撃したため

問11　鎌倉時代に栄西が中国（宋）から伝え、座禅を組んで師からの問いに答えながら修行する、幕府や武士に重んじられた宗派を何といいますか。（2016年 岡山県公立入試 類似）

1. 真言宗　2. 浄土宗　3. 臨済宗　4. 曹洞宗

問12　13世紀、モンゴル帝国の皇帝フビライ・ハンが日本に対して2度にわたる大規模な遠征を行った背景や経緯について述べた文として、最も適切なものはどれか。（2020年 山形県公立入試 類似）

1. 日本が南宋を支援して元に宣戦布告したため、フビライ・ハンが報復として兵を送ったため。
2. 元と結んだ足利尊氏が、後醍醐天皇の軍勢を討伐するために援軍を要請したため。
3. チンギス・ハンが日本を黄金の国ジパングと呼び、領土拡大の最初の目標に設定したため。
4. 元が日本に対して服属を求めたのに対し、鎌倉幕府の執権であった北条時宗がこれを拒否したため。

問13　鎌倉幕府を成立させた源頼朝が、全国的な支配権を固める過程において、東北地方の奥州藤原氏を滅ぼした後に朝廷から与えられた、幕府の長を指す役職名を選びなさい。（2024年 静岡県公立入試 類似）

1. 関白　2. 征夷大将軍　3. 太政大臣　4. 執権

問14　13世紀のモンゴル帝国の支配が、その後の東西交流に与えた影響を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2024年 京都府公立入試 類似）

1. キリスト教以外の宗教を厳しく禁じたため、ヨーロッパからアジアへ向かう商人の活動が制限された。
2. 北アフリカまでの全域を完全に支配下に置き、地中海貿易を独占することで、東ヨーロッパとの交流を遮断した。
3. 駅伝制の整備などによって広大な領土内の交通網が確保され、人々の往来や文化の交流が盛んになった。
4. 12世紀のうちにモンゴル高原へ領土を縮小させたため、ヨーロッパとの直接的な文化接触は失われた。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 禅宗	鎌倉時代に栄えた新しい仏教のうち、座禅を通じて自己を見つめ直し、自力で悟りに達しようとする教えが禅宗です。この「自力」による厳しい修行のあり方が、実力を重んじ精神的な強さを求める武士の気風に合致しました。鎌倉幕府だけでなく室町幕府も禅宗を厚く保護し、寺院の序列を定めるなどして政治・文化の両面で深く結びつきました。
問2	答え 3 守護は国ごとに置かれて主に軍事や警察の任務を担い、地頭は荘園や公領ごとに置かれて年貢の徴収や土地の管理を担った。	守護と地頭は、それぞれ設置された単位と役割が異なります。守護は行政単位である「国」ごとに原則1名ずつ置かれ、国内の武士（御家人）を統率して、謀反人の逮捕や大番役の催促といった軍事・警察的な仕事を行いました。一方、地頭はより細かな単位である「荘園」や「公領（国衙領）」ごとに置かれ、年貢の取り立てや土地の管理という実務的な権利（地頭職）を行使しました。この重層的な支配構造を理解することが、鎌倉時代の制度を把握する上で重要です。
問3	答え 4 武士の社会における慣習や道徳をもとに、裁判の公平な基準を示すために制定された最初の武家独自の法律である。	承久の乱の結果、幕府の支配力が西日本まで及ぶようになると、各地の地頭と荘園領主（公家や寺社）の間で土地をめぐる紛争が激増しました。北条泰時は、武士たちに理解しやすく、かつ公平な裁判の基準を設けるために「御成敗式目」を制定しました。これは律令（公家法）とは異なり、武士の社会で行われていた慣習や「道理」を基準とした点が画期的でした。
問4	答え 1 一遍	鎌倉新仏教の一つである時宗を開いた人物についての問いです。一遍は特定の寺院に留まらず、全国各地を遍歴して布教したため「遊行上人（ゆぎょうしょうにん）」とも呼ばれました。踊り念仏は、念仏の喜びを身体で表現するものであり、当時の民衆の間で爆発的に流行しました。
問5	答え 1 後醍醐天皇と足利尊氏	鎌倉時代末期、北条氏による専制政治への不満が広がる中、後醍醐天皇が倒幕の挙兵をしました。当初は幕府軍として派遣された足利尊氏でしたが、途中で天皇側に寝返って六波羅探題を攻略しました。同時期に新田義貞が鎌倉を攻め落としたことで、1333年に鎌倉幕府は滅亡しました。後鳥羽上皇は承久の乱（1221年）で幕府を倒そうとした人物であり、足利義満は室町幕府の第3代将軍です。
問6	答え 1 御成敗式目	承久の乱を経て、幕府の影響力が西日本にも拡大した結果、各地で地頭（武士）と荘園領主（貴族や寺社）の権利を巡る争いが増加しました。北条泰時は、裁判を公平に行い、武士が納得できる独自の基準を作ることで社会の混乱を収めようと考え、この法典を制定しました。これは日本で最初の武家法として、その後の武士の政治に大きな影響を与えました。
問7	答え 3 元軍による襲来	鎌倉幕府は当初、幕府の所在地である鎌倉と、朝廷のある京都との連絡を最重視していました。しかし、13世紀後半にモンゴル帝国（元）が九州北部に侵攻してくると、現地の戦況をいち早く把握し、御家人への指令を迅速に伝える必要が生じました。この国防上の要請から、通信網である「駅制」が九州まで拡張・整備されました。
問8	答え 2 朝廷のある京都の治安を維持し、幕府の警察権を誇示することで、朝廷に対する支配力を強めるため	鎌倉幕府は、将軍が御家人の領地支配を保障する代わりに、軍役を通じて全国的な警察・軍事権を握りました。特に朝廷のある京都の警備（京都大番役）を幕府の指揮下で行うことは、幕府が政治的権威を高め、全国支配を正当化する上で極めて重要な意味を持っていました。分割相続は鎌倉時代に行われていましたが、それが京都警備の目的ではありません。
問9	答え 3 北条氏が執権として実権を握り、京都に六波羅探題を設置して朝廷の監視や西国武士の統制を強めた。	承久の乱で朝廷側に勝利した鎌倉幕府は、それまで支配力が弱かった西国（西日本）への影響力を飛躍的に強めました。北条氏が就いた「執権」という役職が幕政の実権を掌握し、京都には新たに「六波羅探題」が設置されました。これは朝廷の動きを常に監視するとともに、西国武士を統制する役割を担いました。
問10	答え 3 一騎打ちを基本とする武士に対し、相手が組織的な戦法をとったため	当時の武士は「やあやあ、我こそは」と名乗りを上げて一対一で戦う作戦が主流でしたが、元軍は集団で行動し、ドラの合図で一斉に攻撃を仕掛ける戦法をとりました。また、火薬を使った兵器「てつはう」による爆発音や煙も、馬を驚かせるなどして武士を苦しめました。
問11	答え 3 臨済宗	栄西によって伝えられたこの宗派は、禅宗の一つであり、座禅を組みながら「公案」と呼ばれる師からの問題を解くことで悟りを目指します。自律的な修行を重視する姿勢が、当時の武士の精神に合致したため、鎌倉幕府に厚く保護されました。
問12	答え 4 元が日本に対して服属を求めたのに対し、鎌倉幕府の執権であった北条時宗がこれを拒否したため。	フビライ・ハンは中国大陸の南宋を完全に征服する前に、日本を元の勢力圏に組み込もうとして、繰り返し使者を送って服属（朝貢）を迫りました。しかし、当時の鎌倉幕府の執権・北条時宗はこれらの要求を黙殺・拒否し、対戦の準備を進めたため、武力衝突である元寇へと発展しました。選択肢にあるチンギス・ハンは元の建国者ですが、日本遠征を指揮したのはフビライ・ハンです。
問13	答え 2 征夷大将軍	源頼朝は、対立した弟の義経をかくまっていた東北の奥州藤原氏を討伐し、全国に守護・地頭を設置するなどの支配権を強めました。その後、1192年にこの役職に就くことで、武家政権の首長としての地位を確立しました。
問14	答え 3 駅伝制の整備などによって広大な領土内の交通網が確保され、人々の往来や文化の交流が盛んになった。	モンゴル帝国は広大な領土に「ジャムチ（駅伝制）」と呼ばれる交通網を整備しました。これにより、通行の安全が確保され、イタリアの商人マルコ・ポーロのようにアジアとヨーロッパを往来する者が現れるなど、人・物・文化の交流が促進されました。領土は東ヨーロッパまで及びましたが、北アフリカまでは到達していません。